

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	通所型介護予防事業			会計	款	項目	大	小
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	早川 仁				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	二次予防事業対象者把握 事業により把握した二次 予防事業対象者	意図	二次予防事業対象者に適切なプログラムを実施することにより、要介護状態等になることを予防する。
事業内容	二次予防事業の対象者に、運動器の機能向上プログラム、栄養改善プログラム、口腔機能の向上プログラムを実施することにより、要介護状態等になることを予防し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年度に介護保険法の介護予防事業として事業を開始した。 平成23年度から、教室まで車で送迎があるコースと、教室まで自分で行く送迎なしの2コース実施している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	参加者数	168	166	127	人
②	対象者数	5,350	5,461	5,395	人	→→	
③	対象者のうち参加者の割合	3.10	3	2.40	%	→→	参加者/対象者
④	教室稼働率	88.40	87.30	90.70	%	→→	参加者/教室定員
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・H26年度は、要介護状態の予防に単独で行うよりも効果的とされる複合プログラム（運動・栄養・口腔一体型）を実施した。 ・スポーツクラブに送迎なしのコースを委託し、市中部および東部地域の2会場で時間帯を分けて、4コースを実施した。 ・送迎ありのコースは市北部の公共施設（1か所）で、曜日・時間帯を4コースに分けて実施した。 ・事業にかかる一人あたりのコストが高い。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		19,694,466	16,201,667	17,179,614			
事業費(b)(円)		12,516,466	9,214,667	10,270,348			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		7,178,000	6,987,000	6,909,266			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	C 削減の余地が大きい
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	運動機能、栄養改善・口腔機能向上の2パターンの教室実施を行った。運動と栄養口腔機能は密接な関わりがあり、効果的な教室となるため、複合プログラムの検討を行う。	③取り組みの課題	定員を超えた申込者があり、結果、優先順位を設けて参加者を選択することになった。より多くの市民が参加できる仕組み作りが必要である。
②今年度(H26)に実施した取り組み	「運動器の機能向上」と「栄養改善・口腔機能向上」を一体的に行う複合プログラムを実施し、より効果的な介護予防に努めた。	④今後の改善計画	介護保険制度改正により本事業は終了する。今後は、より多くの対象者への「一般介護予防事業」で、地域の拠点づくりや参加者の拡大推進への取組みを推進する。